

第2学年 算数科学習指導案

日 時：令和2年11月12日（木）5校時

児 童：男子11名 女子9名 計20名

指導者：教諭 遠藤 裕子

1 単元名 「新しい計算を考えよう」（東京書籍2年下）

2 単元の目標

乗法の意味について理解し、計算の意味や計算の仕方を考えたり乗法に関して成り立つ性質を見いだしたりする力を養うとともに、計算方法など数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。

3 本時の目標（20／22）

（1）目標

問題づくりによる、式の読みや式に表現することを通して、5，2，3，4の段の九九の理解を深める。

（2）具体の評価規準

評価の観点	おおむね満足できる	努力を要する児童への手立て
思考・判断・表現	数量の関係に着目し、乗法の用いられる場面をとらえ、言葉や式で説明している。	図をもとに、被乗数、乗数と「1つ分」、「いくつ分」の関係を捉えさせる。

（3）研究主題との関わり

①本時のねらいに沿って、児童の思考をつなげる「学び合い」の工夫・改善

・かけ算の式の意味について、図や式で表し、ペアや全体場で説明させる。（視点1：エ）

②自分の学びの広がりや深まりを実感できる「振り返り」の工夫・改善

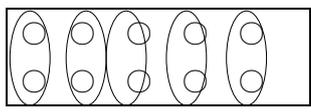
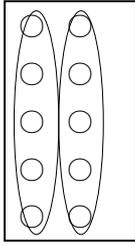
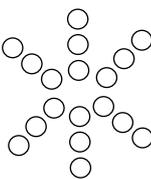
・本時の学習の中でまとめを確認し、分かったことやできたこと、感想を発表させる。

（視点2：ア）

（4）展開

※ゴシック太文字は主題との関わり

段階	学習活動と学習内容「予想される児童の反応」	指導上の留意点と評価		
教える 10分	1 学習内容を想起する。 （1）問題をとらえる。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;">①えんぴつを1人に2本ずつ5人にくばります。えんぴつは、ぜんぶで何本ありますか。</td> <td style="width: 50%; padding: 5px;">②えんぴつを2人に5本ずつくばります。えんぴつは、ぜんぶで何本ありますか。</td> </tr> </table> （2）立式する。	①えんぴつを1人に2本ずつ5人にくばります。えんぴつは、ぜんぶで何本ありますか。	②えんぴつを2人に5本ずつくばります。えんぴつは、ぜんぶで何本ありますか。	・既習と関連付けて考えさせる。 ・問題の内容をつかませる。 ・問題文にある数は同じだが、問題場面が異なることを読み取らせる。
	①えんぴつを1人に2本ずつ5人にくばります。えんぴつは、ぜんぶで何本ありますか。	②えんぴつを2人に5本ずつくばります。えんぴつは、ぜんぶで何本ありますか。		
2 課題を把握する。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="padding: 5px;">式をたてる時に気をつけることを考えよう。</td> </tr> </table> （1）図に表しながら「1つ分」と「いくつ分」の数を確かめる	式をたてる時に気をつけることを考えよう。			
式をたてる時に気をつけることを考えよう。				

	<p>①  しき $2 \times 5 = 10$ こたえ 10本</p> <p>②  しき $5 \times 2 = 10$ こたえ 10本</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図と問題文と式がつながるように考えさせる。 ・ 答えが同じなのに、式が異なることから、かけ算の式の意味について考えさせる。 ・ 1つ分の数×いくつ分 = 全部の数の確認をする。
<p>考えさせる</p> <p>30分</p>	<p>3 学び合いをする。</p> <p>(1) 自力解決をする。</p> <p>□に数を入れて、4×3、3×4になる式の問題をつくろう。</p> <p>(4×3)・・・「1つ分の数」は4 しき $4 \times 3 = 12$ こたえ 12こ</p> <p>(3×4)・・・「1つ分の数」は3 しき $3 \times 4 = 12$ こたえ 12こ</p> <p>(2) ペアや全体で式の意味を確かめ合う。</p> <p>4 練習問題に取り組む。</p> <p>アレイ図の問題</p> <p>① 3×6をみつけよう。 ② ほかの式もみつけよう。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 穴埋め問題に取り組んだ後、図に表しペアや全体で説明させる。 (視点1：エ) <p><評価></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【思・判・表】</p> <p>数量の関係に着目し、乗法の用いられる場面をとらえ、言葉や式で説明している。 (観察・ノート)</p> </div>
<p>まとめる</p> <p>5分</p>	<p>5 学習のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>1つ分の数がいくつあるかが分かればかけ算の式をつくることができる。</p> </div> <p>6 今日の学習を振り返り、感想を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1つ分の数に注目して問題を解くとかけ算の式にできる。 <p>7 次時の見通しをもつ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 振り返りの視点の揭示を参考にポイントとなる言葉を使って分かったこと、できたことを発表させる。 (視点2：ア)

(5) 板書計画

11 / 12

問題文①

問題文②

④ しきをたてるときに気をつけることを考えよう。

⑤ 1つ分の数がいくつあるかが分かればかけ算の式をつくることができる。

しき $2 \times 5 = 10$ しき $5 \times 2 = 10$
こたえ 10本 こたえ 10本

問題文③

練習問題

しき $4 \times 3 = 12$ こたえ 12こ

しき $3 \times 4 = 12$ こたえ 12こ

